

## 光ワイヤレスPTTモバイルマイクロホン

## 取扱説明書

このたびは、(株)エス・イー・シーのモバイルマイクロホンFX-8100をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。ごさいます。

このFX-8100は、光ワイヤレス方式PTTおよび警報音付無変調防止機能を備えた、単一指向性高性能モバイルマイクロホンです。ご使用に際しましては、本製品の性能を十分発揮させていただき、この説明書をよくお読みいただき、末永くご愛用くださいますようお願い申し上げます。なお、この取扱説明書は保証書と共用になりますので、お読みになった後も大切に保管してください。

★ いずれも安全に関する内容ですので、必ず守ってください ★

**警告**

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

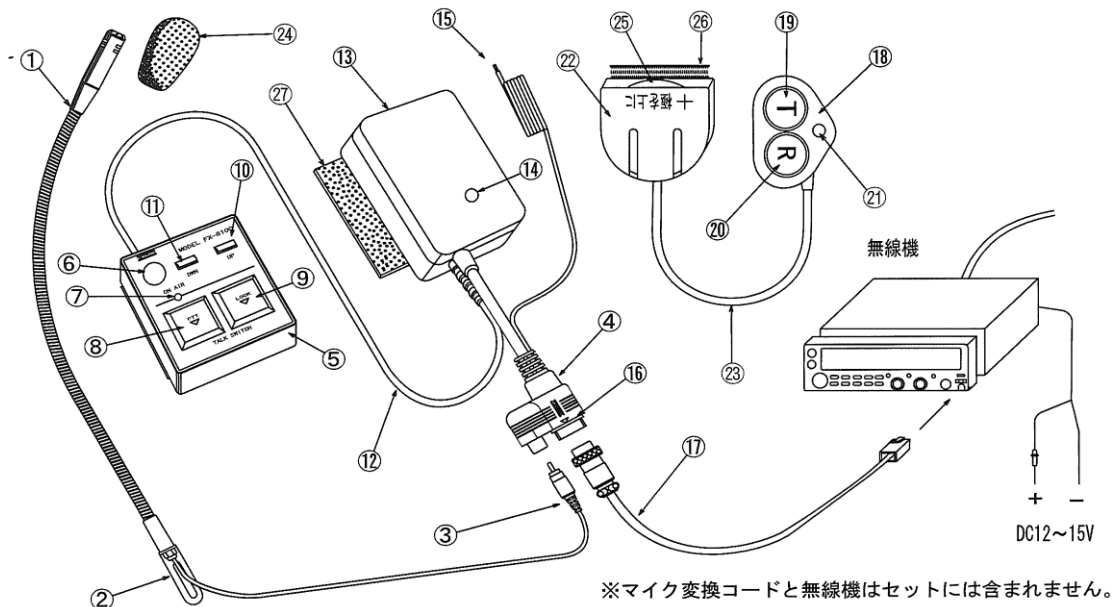
- △警告 本製品は車の運転の妨げならない場所に取り付け、製品がはずれたり、コード類がハンドルに絡まったりしないようにしてください。
- △警告 指定の電源電圧以外で使用しないでください。火災、感電、故障の原因となります。
- △警告 電源コードや接続コードを傷つけたりしないでください。火災、感電、故障の原因となります。
- △警告 改造、分解したり修理はしないでください。火災、感電、故障の原因となります。修理はお買い上げの販売店または、弊社にお申しつけくださいますようお願いいたします。

**注意**

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、または物的損害のみ発生が想定される内容を示しています。

- △注意 コード類は無理に引っ張ったり巻き付けたりしないようにしてください。ショート、故障の原因となります。プラグやジャックを抜き差しするときは、プラグやジャックを持っておこなってください。
- △注意 フレキシブルマイクのフレキシブルパイプは、無理に曲げたりしないでください。けが、故障の原因となります。
- △注意 本製品が水などで濡れやすい場所には取り付けしないでください。ショート、故障の原因となります。
- △注意 本製品は緊急通信や非常通信用途には設計されておりませんのでご承知おきください。

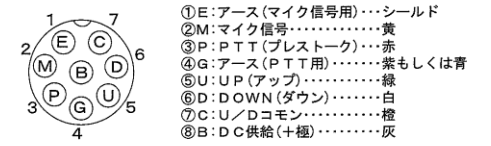
◎各部の説明 (1図)



※マイク変換コードと無線機はセットには含まれません。

- |   |  |  |
|---|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>①フレキシブルマイク</li> <li>②止め金具</li> <li>③ピンプラグ付きマイクコード</li> <li>④入出力コード</li> <li>⑤受光部スイッチボックス</li> <li>⑥受光窓</li> <li>⑦送信表示ランプ (LED)</li> <li>⑧PTTスイッチ</li> <li>⑨LOCKスイッチ</li> <li>⑩UPスイッチ</li> <li>⑪DOWNスイッチ</li> <li>⑫インターフェースコード</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>⑬コントロールボックス</li> <li>⑭出力調整用ボリューム穴</li> <li>⑮電源供給線</li> <li>⑯8 P中継ジャック</li> <li>⑰マイク変換コード (弊社製別売)</li> <li>⑱送受信操作部</li> <li>⑲TXボタン</li> <li>⑳RXボタン</li> <li>㉑赤外線発光部</li> <li>㉒光送信器電池ケース</li> <li>㉓渡り線</li> </ul> | <p>—— 付属品 ——</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>㉔風防</li> <li>㉕コイン型リチウム電池 (CR2032型)</li> <li>㉖電池ケース取り付け用マジックテープ</li> <li>㉗コントロールボックス取り付け用マジックテープ</li> </ul> |
|---|--|--|

◎8ピンアドニス配列 (8 P中継ジャック)



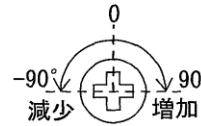
## ◎取り付け方法および接続方法

- ①フレキシブルマイクの②止め金具を、サンバイザーと共締めするが、運転の妨げにならない適当な場所へ工夫して取り付けてください。（付属の②風防を①フレキシブルマイクに付けてご使用ください。）
- ③送受信操作部はハンドルを握った状態で操作がしやすく運転の妨げにならないハンドル表側の平坦な場所へ、貼り付ける場所の汚れをよく落としてから、裏の両面テープの剥離紙をはがして貼り付けてください。（パッケージ表参照）④光送信器電池ケースに付属の⑤コイン型リチウム電池をセット（3図左）し、ハンドルの裏側に付属の⑥電池ケース取り付け用マジックテープを使用して貼り付けてください。⑦渡り線はハンドルに密着させ、手が引っかかりたりして運転の妨げにならないようにしてください。  
▲【警告】 危険ですのでホーンスイッチやエアバッグの上には取り付けないでください。
- ③コントロールボックスは、付属の⑦コントロールボックス取り付け用マジックテープを使用して取り付けてください。
- ③コントロールボックスから出ている④入出力コードのピンジャックに、③ピンプラグ付きマイクコードを差し込んでください。
- ご使用の無線機に適合した⑧マイク変換コード（弊社製別売）を、④入出力コードの⑨8P中継ジャックと無線機の間に接続してください。⑧マイク変換コードには方向性がありますのでご確認の上、間違わないように接続してください。
- ⑤電源供給線は、無線機の電源の+側 [12~15V] に接続してください。※無線機のマイクロホン端子に電源 [DC 5V~10V・50mA] を供給している無線機をご使用の場合は、電源供給型マイク変換コード“Dシリーズ”（弊社製別売）で接続すると、⑤電源供給線の配線が不要になります。
- ⑤受光部スイッチボックスの取り付けは、運転席パネルのハンドルの後ろあたりが中央部に⑥受光窓が運転者の方向を向くようにし⑧赤外線発光部からの赤外光が運転者に反射して受光でき、③送受信操作部から送受信の切り替えが安定で操作のし易い場所に、裏の両面テープの剥離紙をはがして貼り付けてください。（パッケージ裏参照）直射日光の当たる場所では動作しなかったり、動作が不安定になる場合があります。

## ◎ご使用方法

- ③送受信操作部から送受信の操作をおこなうには、⑩TXボタンを押すと送信になります。送信に切り換わると③コントロールボックスから「ピ」という短音が鳴り送信になった事を知らせ、⑦送信表示ランプが点灯します。受信に戻すには②RXボタンを押します。ボタンを押すと「ピー」という長音が鳴り受信に戻ります。操作時に 赤外線発光部を塞がないよう注意してください。
- ⑤受光部スイッチボックスで送受信の操作をおこなうには、⑧PTTスイッチを押してください。スイッチを押している間だけ送信になり、放すと受信に戻ります。連続送信したい場合は⑨LOCKスイッチを押してください。連続送信を解除して受信に戻すには⑧PTTスイッチを押してください。
- ⑩UPスイッチおよび⑪DOWNスイッチは無線機に付属のマイクロホンのUP・DOWNスイッチと同じ動作をします。（詳しくは、無線機の取扱説明書をお読みください。）
- ①フレキシブルマイクの先端部から口元までの距離が10cm以内になるようにしてお使いください。
- 出力レベルは、適正なレベルになるように調整されていますが、変調が深すぎたり浅すぎたりする場合には、下記の要領にて適正なレベルになるように調整してください。  
⑫出力調整用ボリューム穴に小型のマイナスドライバーを差し込み、ローカル局にモニターしてもらいながら2図に表示してある回転範囲内を静かに回して調整してください。ボリュームを右（時計回り）に回すと出力は増加し、左（反時計回り）に回すと減少します。左右に約90度しか回りません。回し過ぎると、破損するおそれがありますので十分注意してください。

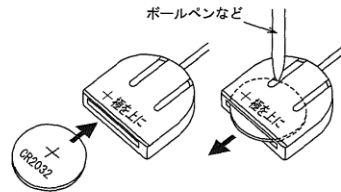
### ◎出力調整方法（2図）



## ◎コイン型リチウム電池の交換方法

- ③送受信操作部から操作ができなくなった場合、電池が消耗していますので、次の手順で交換してください。  
（ア）ボールペンなどの先の尖った物で、左右交互に溝に沿って（3図右）電池を押し出して取り出してください。  
（イ）⑩TXボタン又は②RXボタンを数回押してください。  
（ウ）新しい電池（CR2032型）の極性をよく確かめ、+極が上になるように挿入してください。  
※ご注意：指定の電池（CR2032）以外は絶対に使用しないでください。

### ◎電池の出し入れ方法（3図）



## ◎無変調防止回路について

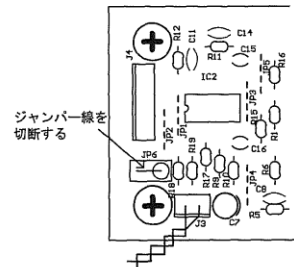
誤って送信のままにしまったり、通常の交信においても、送信時間が約2分30秒続けばアラーム音で長時間の送信状態であることを知らせ、アラーム音が約30秒鳴った後、自動的に受信に戻ります。送信を継続したい場合は⑩TXボタンを押すか、⑨LOCKスイッチを押してアラームを解除してください。

【無変調防止回路を動作させたくない場合】

次の変更をおこなうと無変調防止回路が動作しません。

- ③コントロールボックスの蓋の4本のネジを外し、中の基板が見えるようにして、基板上の抵抗型ジャンパー線（4図矢印）「JP6」を切断してください。

### ◎無変調防止回路について（4図）



## ◎回り込みについて

ローパワーで送信すれば正常であるのに、ハイパワーで送信した場合に変調が異常になったりバリバリという音が混入したり、その他の雑音（マイクから直接入るエンジン音ではありません）が増すことがあります。その場合アンテナと同軸ケーブルの調整が悪く、定在波がマイクコードに乗ることが考えられます。従ってマイクコードの引き回し方を変えると良くなる場合があります。特に同軸ケーブルと平行にしないようにしてください。また、アンテナと無線機とのSWRをチェックしてみてください。

## ★ご注意とお願い★

- 弊社製以外のマイク変換コードを使用すると正しく動作しない場合がありますので、必ず弊社製を使用してください。弊社製以外の変換コードのご使用によるトラブル・故障等につきましては一切の責任を負いませんのでご了承ください。
- ご使用になるトランシーバーおよびアンテナの取付方法および場所、取扱電力等によって、回り込みを起こして、ご使用になれない場合がありますのでご了承ください。
- マイクロホンには必ず風防を取り付けて使用してください。
- 直射日光のあたる場所や高温になる場所での使用および放置は、変形・変質を招き本製品に悪い影響を与えますので工夫して高温を避けるようにしてください。
- 性能改善のため、予告なく仕様デザイン等を変更する場合があります。

## ★アフターサービスについて★

お買いあげいただきました製品は、厳重な品質管理のもとに生産されておりますが万一運搬中の事故などに伴い、ご不審な箇所または破損などのトラブルがありましたら、お早めにお買いあげいただいた販売店、または弊社に保証書を添えてお申し付けくださいますようお願いいたします。